

平成 30 年度国際理解ワークショップ進行シート

作成日： 2018 年 08 月 02 日

大学名： 敬和学園大学

タイトル： 普通って何だろう？ ～ありのままの自分で生きるなら～

1：本ワークショップの要旨

普通とはいったい何か。世界にはたくさんの方がいて、それぞれには個性があるにも関わらず、私たちは自分とは違う人を差別しがちである。このワークショップでは LGBT を土台として劣位になりがちな少数派の人々に触れ、LGBT の知識を深めるとともに「普通とは何か」「違うことがなぜおかしいのか」について考えていく。そしてすべての人々が「ありのまま」生活していくにはどうすれば良いか、「普通」という偏見にとらわれず、「ありのままに」お互いを見るにはどうすればよいかを生徒らに問いかけていく。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・ 人の数だけ「普通」があるということを知ってもらう
- ・ LGBT などについての知識を深める
- ・ すべての人々が「ありのまま」生きるにはどうすればよいのかを考えるきっかけにする
- ・ 他者を受け入れることや、理解することの重要性を促す

3：本トピックをとりあげる理由

今日、LGBT に関する教育が以前よりも行われるようになったが、彼らに対する偏見や当事者自身がありのままに生きられないことへの悩みや迷いを抱えていることが少なからずある。本ワークショップでは、それらを取り除き、他者を受け入れることや理解することの重要性を促す。また、「普通」とはなにかについて考えることで多様性を知り、そこから人の数だけ「普通」が存在することを児童生徒らと考えていきたい。

以上が、我々が本トピックをとりあげる理由である。

4：活動過程 (使用時間： 100 分程度 参加人数： 40 人程度)

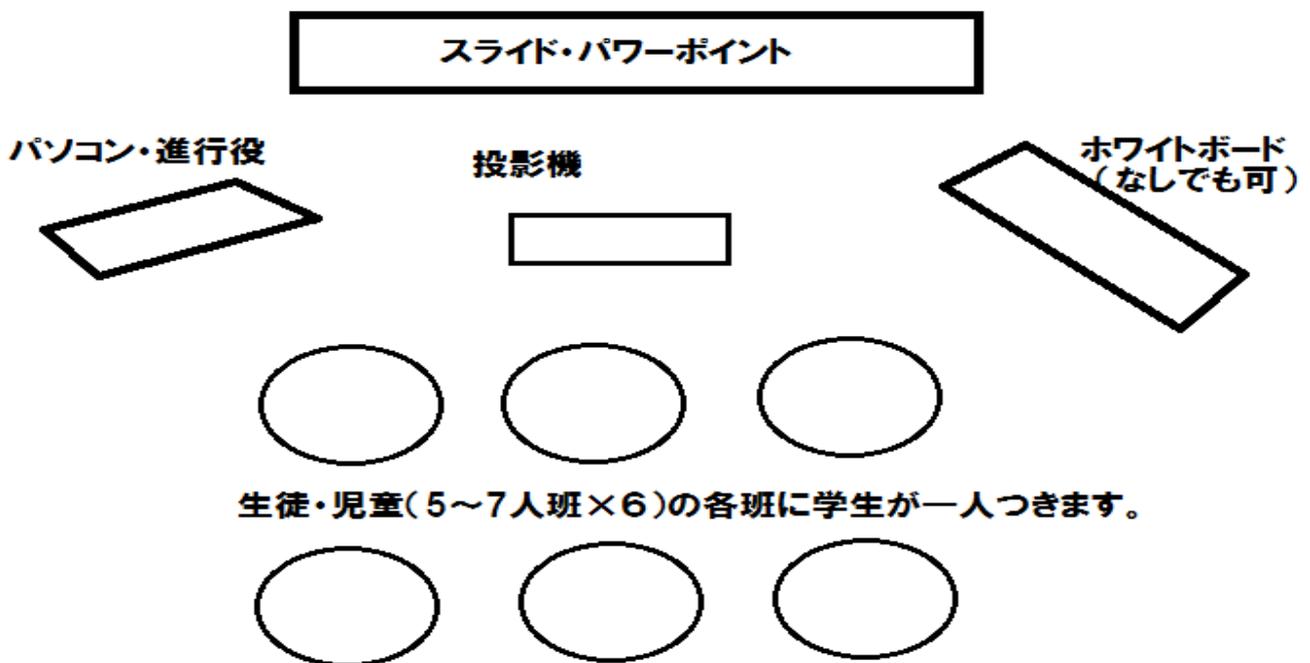
過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項

<p>導入 :起 (10分)</p> <p>(15分)</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>クエスチョン 「みんなの普通」</p>	<p>内容は未定</p> <p>・日常生活上でよく見られる行動について「普通」か「普通じゃないか」を問う。 例) 朝ごはんに米を食べるのは普通?普通じゃない?</p>	<p>・個々の思っている「普通」と周りの思っている「普通」がそれぞれ違うことがあることを実感してもらう。</p>	<p>・パワーポイント ・写真 ・イラスト</p>	<p>「私は普通朝ごはんにパンを食べるよ」 「私の普通とあなたの普通って違うんだね」</p>
<p>展開 :承 (10分)</p> <p>休憩 (10分)</p>	<p>クイズ 「性のあり方」</p> <p>休憩</p>	<p>・性のあり方(セクシヤリティ)についてのクイズを出題する。 ・LGBTについて触れる ・図を使って説明する</p> <p>・休憩を通じて生徒らとの交流を楽しむ</p>	<p>・性別の認識について知ってもらう。 ・LGBTについて知ってもらう</p>	<p>・パワーポイント ・写真 ・図</p>	<p>「自分はこころも身体も男だよ」 「もしかしたら身体は女だけど、こころは男よりかもしれない」</p>

<p>(15分)</p>	<p>劇 「マイノリティとされる人々の生活」</p>	<p>・「普通じゃない」と言われる人々の日常生活に基づいた劇 例) トイレ、服装など</p>	<p>・劇を通し、マイノリティの苦勞を知ってもらうとともに問題意識を持ってもらう</p>	<p>・パワーポイント ・写真 ・イラスト</p>	<p>「こんなに苦しんで生活しているんだね」 「じゃあ、普通じゃないといわれる人はどうすればいいのかな」</p>
<p>発展 : 転 (25分)</p>	<p>世界の LGBT に対する取り組み紹介 関連図書の紹介</p>	<p>・世界で行われている LGBT に関する取り組みを紹介する ・日本や新潟で行われている取り組みも紹介する 各学年に合った関連図書を紹介します</p>	<p>・取り組みを知ってもらい、これからどうすべきかを考えさせる。 ・図書館でも借りられるものを紹介し、さらに興味を持ってもらう</p>	<p>・パワーポイント ・写真 ・図 ・関連図書 ・パワーポイント ・写真</p>	<p>「世界中でいろいろな取り組みがあるんだね」 「日本や新潟にも団体があるのか」 「これ、市民図書館で見たことあるかも」 「学校の図書室でも借りられるかな」</p>

<p>まとめ : 結 (15分)</p>	<p>お互いを認め合 おう</p>	<p>これまでのワークを振 り返って感想や感じた ことをまとめ、発表す る。</p> <p>・「人それぞれが違いを 持っており、お互いに それを認め合うことが 大切」だということを 説明する。</p>	<p>・これまでのワ ークで印象に 残ったことや 疑問に思った ことをまとめ てもらう。</p> <p>・数グループ指 定して発表し てもらう。</p>	<p>・パワーポイン ト ・画用紙 ・ペン</p>	<p>「自分と周りの人 との意見が違うこ とに違和感を感じ なくていいんだ。」</p>
--------------------------	-----------------------	--	--	---------------------------------------	---

5 : 会場のセッティング



6：使用する教材

- ・パワーポイント
- ・ペン
- ・画用紙
- ・関連する写真やイラスト
- ・各学年に合った関連図書

7：参考にした資料

小倉千加子 『セクシュアリティの心理学』、有斐閣選書、2001年

砂川秀樹 『LGBTって何ですか？～性自認・性的志向と社会関係～』、GRADi、取得日：2017年8月10日、掲載日：2014年5月、

URL :
http://www2.kobe-u.ac.jp/~alexroni/TR2016/2016_2/LGBT%20pamphlet.pdf#search=%27LGBT%E3%81%A8%E3%81%AF+%E3%81%8F%E3%81%BE+pdf%27

星野慎二ほか著 『LGBTQを知っていますか？“みんなと違う”は“ヘン”じゃない』、少年写真新聞社、2015年

薬師実芳ほか著 『LGBTってなんだろう？からだの性・こころの性・好きになる性』、合同出版、2014年

早稲田大学教育総合研究所監修 『LGBT問題と教育現場—いま、わたしたちにできること—』、学文社、2015年

8：その他

- ・児童生徒らの班編成は5～7人班×6班にさせていただけると嬉しいです。
- ・パワーポイントを使ったワークショップになるのでパソコンやスライドを使用できる環境を用意していただきたいです。
- ・LGBT、性的マイノリティの児童生徒らがいましたら事前の打ち合わせ時に伝えていただきたいです。
- ・そのほかについては事前の打ち合わせ時に確認・連絡させていただきます。